

**小学生ソフトボールの運営における
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の
感染拡大予防ガイドライン**

福岡市小学生ソフトボール連盟

実施事項

セルフチェックリストとしてもご利用いただけるようチェックボックスを用意しました

【基本事項】 ※必ず守っていただきたい事項です

マスクの持参（咳エチケット）

休憩時間などスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを必ず着用する

こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施

他チーム選手、指導者等との距離（できるだけ2m以上/最低1m）の確保

当日朝の検温を行い、集合時にチーム内で把握

発熱がある場合は参加を見合わせる

大きな声での会話等はしない

タオルや飲み物などは共有をしない

タオルは各自持し、飲み物はマイボトル専用か紙コップを使用してください

試合等終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、保健所に速やかに連絡し、その後事務局にも連絡すること

以下の事項に該当する場合は、自主的な参加の見合わせ

ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航 又は当該在住者との濃厚接触がある場合

参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めること（クラスター時の連絡用）

ア 氏名、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する
（他の手段でも可）

イ 利用当日の体温

参加費の振り込みや当日集合の見合わせ

ア 参加費（大会費）は書留郵送や当日集金を行わない ※事前振り込みを行う

イ コロナ禍や雨天等で中止の場合、当日の参加者の参集を行わない

事前判断が望ましい※当日の場合、電話やメールで知らせる（事前の連絡先確認必須）

ウ 返金がある場合でも、当日の直接の返金を行わず、後日に振り込みで返金を行う

抽選会や開会式の参集の見合わせ

ア 抽選会は代理抽選とし、各チームの参集を見合わせる

イ 開会式は各チームの参集を見合わせる。行う場合は主将のみとし簡潔な進行が望ましい

スマホを活用した接触確認アプリの活用

大会・リーグ戦等開催・実施時の感染防止策ガイドライン

【事務局・執行部向け】

【全般的な事項】 ※必ず守っていただきたい事項です

- 感染防止のため事務局が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（受付場所や試合グラウンド等）に掲示する
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加チームより提出を求めた書面について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておく
- 参加チームや関係者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合、すみやかに保健所等に連絡し指示を仰ぐ
- 参加者が上記事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること（イベント当日に書面で確認を行う）

【大会やリーグ戦ごとの当日対応事項】

※必ず守っていただきたい事項です

- 受付や事務局への手指消毒剤の設置
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は参加しないように呼び掛け（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し参加を制限することも考えられる）
- 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること
- 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと
- 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること

※任意での事項です

- インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにすること
- 当日の受付のほか、試合前日の受付を行い混雑を極力避けること
- 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めること
 - 利用前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
 - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

【大会やリーグ戦ごとの試合対応事項】

※アンダーラインが必ずお願いしたい事項 それ以外は任意での事項です

試合グラウンド

- 両面使いはせず片面利用が望ましい
- 小学校の校庭は1面利用が望ましい
- 一日1グラウンド4~5チームが望ましい 《二密（密集・密接）を避ける》
※午前チームと午後チームを分けることでも可
＜小学校によっては体育館参加団体も総数としてチーム数を制限される場合もある＞
- 昼食を試合会場で摂らないよう運営をすることが望ましい
- グラウンド整備は保護者が行い、手袋を着用するか手指消毒を行うこと
※グラウンド用具（ラインカー等）も使用は手袋を着用するか手指消毒を行うこと

ベースキャンプ

- 他チームとの間隔を10m以上確保することが望ましい
事前に場所指定することが望ましい
※ベースキャンプ付近のトスネットは禁止
- ベースキャンプスペースを確保するためにホームベースをセカンド方面に移動しデッドラインから外を広げるなど工夫が必要
※両面使いの片面をベースキャンプスペースに活用する
- お茶出しの自粛（指導者・保護者・他指導者等へのお茶出し自粛）
- ベースキャンプ内の椅子等の距離を確保する
- お茶キーパー利用時は紙コップにする ※各自の水筒でも可
- ハンドソープ・アルコール消毒液を持参する
- 試合用具や机・椅子等の消毒をこまめに行う ※消毒液、雑巾、使い捨て手袋
※用具用消毒液は次亜塩素酸ナトリウム（ハイターを水で薄める）が望ましい

ベンチ内

- グローブ・バット・ヘルメット、捕手用具は共有せず個人管理が望ましい
ヘルメットやバットは個人管理が望ましい
できない場合は利用するたびに消毒が必要
※ベンチ内で保護者が行う（手袋・マスク必須）
- 個人ごとに用具の間隔をとって並べることが望ましい（2列や3列など）
1カ所にまとめておく場合は用具間の確保が望ましい
- 応援時の選手間の確保 ※事前に間隔を確保したラインを引く
- 試合中及び試合後の握手・ハイタッチ等は行わない

試合

- グラウンド内やベンチ内ではマスクはしない ※人との距離を空けるよう意識する
- 試合前と終了後の挨拶はベンチ前で行う
- バッターボックスに入って挨拶はしない
※ネクストサークルからバッターボックスに向かうときに挨拶
- 主審はマスクまたはフェイスガードをマスク面に張ってコールすることが望ましい
- 審判は選手に離れてコールする ※塁審はマスク着用が望ましい
- 監督がタイムをかけダイヤモンドに入って協議する時はピッチャーサークルに入らない
- 記録は1名で行う（2名の場合は人との距離を確保する）
- 審判員へのお茶出しは行わないこと 自チームで審判を行う場合は自チームでお茶出しを行うこと
- 選手交代時に主審や選手に近寄らない
- ホームランライン（55mライン）を採用することが望ましい
- 先攻後攻は主将をバックネット前（ネット幅）で主審はネット裏で間隔を取って行う

その他

- 補食時や休憩時に真正面にならないこと
- 車両の相乗りは感染予防をしてから行うこと（余裕があれば家庭ごとの車両で移動）

【主催者・事務局が準備すべき事項の対応】 ※日本スポーツ協会ガイドライン抜粋

□手洗い場所

- 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること ※各チーム必携でも可
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること）※各チーム必携でも可
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること※各チーム必携でも可

□本部、休憩・待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
- 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いをすること

□洗面所

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること ※施設側に依頼でも可
- 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること ※各チーム必携でも可
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること）※各チーム必携でも可

□飲食物の提供時

- 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
※チーム内で声掛けでも可
- スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること
- 果物等の食品については、参加者が同じトング等で大皿から取り分ける方式を避け、一人分を小皿に取り分けたものを参加者に提供するなど、工夫を行うこと
- 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること

□観客の管理

- 観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとること
- 大声での声援を送らないことや会話を控えること
- 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること

□ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること

参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

- 十分な距離の確保
- 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること
- 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
- 水泳時などでマスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をすること
- （※）感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。
- 位置取り:走る・歩く場合、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること
- 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと
- タオルの共用はしないこと
- 飲食については、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- 同じトング等での大皿での取り分けや回し飲みはしないこと
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てないこと

本チェックリストはあくまでサンプルであり、各スポーツイベントの特性等を勘案して、上記以外に感染拡大防止のための必要な取組を適宜盛り込んでいただきますようお願いいたします